

# ひなたぼっ通信

2013年  
9月号

## 3℃もちがうって本当？

皆さんお宅には“グリーンカーテン”がありますか？宅老所の玄関横には、朝顔とゴーヤの葉が茂り、素敵なグリーンカーテンになって、目を楽しませてくれると同時に、部屋の温度の上昇を防いでくれます。また、ゴーヤは食材にもなるので一石二鳥です。西日が当たると部屋の温度は一気に上昇します。今夏も30度を超える真夏日が幾日もありました。実際に部屋の温度を計ってみました。暑い日には3度も違いびっくりしました。たかが『グリーンカーテン』されど『グリーンカーテン』です。

## 何やってるの？

宅老所の午後のひととき、こんなゲームで盛り上がっています。名付けて『卓上ピンポン』。テーブルの簡易コートで、ラケット代わりに手にしているのは…テッシュボックスです。「レディ、ゴー」の合図で始まると「いいよいいよ、その調子」「がんばれ



ー」と、まわりで見ている皆さんも応援に熱がはいります。スピードのあるスマッシュ？に本気を出してのレシーブ。何よりも夢中になれるゲームのひとつです。

## 「介護教室」参加しませんか

☆第24回 10月10日(木) 14:00～  
『口腔ケアについて』

講師…看護師 山下 明美

☆第25回 11月14日(木) 14:00～

『私の介護についての思い』

講師…介護職 細野 啓子

☆皆さんの参加お待ちしております

8月の介護教室『介護現場の常識、非常識』に参加された方からは、『介護施設というところでは、一人一人の利用者にあった支援をしてくれるとわかり大変だなあと思った』との声が聞かれました。また職員からは、『初心に戻って、自らの仕事を見直すことができ本当に良かった』との声がありました。

## ひなたぼっランチ(宅老所)

毎月第4日曜日はランチの日です。

9月22日(日) 10時～13時  
10月27日(日) 10時～13時

申込み…0266-611-2335

宅老所 山下まで

## もしもの時に

グループホームでは、心臓が止まってしまった人を助けるために訓練用の人形を使って人工呼吸・胸骨圧迫・AED使用と、救急車が到着するまでの一次救命処置の訓練を行いました。グループホームは、深夜勤務があるためスタッフの迅速な対応ができるように全ての職員に参加を求めて、もしもの時の一連の流れを想定して訓練しました。

参加した職員からは、『昨年10月に同じ内容の講習に参加したが、時間が経ってしまっていると色々な点で不鮮明になってしまっているので、いざと言う時の為に、AEDの講習は定期的に必要なだなあと感じた。』との意見がありました。ひなたぼっこでは、一次救命処置の方法を広く一般の皆様を知っていただくために、講習会を企画しています。班会、施設などで要望がございましたら、社会福祉法人ひなたぼっこまでご相談ください。

## ナイスキャッチ…その正体は？!

『夏の暑さをふきとばそう!!』と、宅老所のデッキスペースを利用して流しそうめんを行いました。

その日も猛暑!! 汗をかきかき、するすると流れてくるそうめんを割り箸を使ってナイスキャッチ。細かく刻んだ生姜にみょうが、青じそ、ネギなど、た



くさんの薬味と一緒に汁に浸してお口へパクリ、つるつる入ってペロリ。いつもは少食の利用者さんも、口いっぱいにはおぼり、食欲全開!!『おいしくねえ』の声があちらこちらで上がっていました。

## ボランティアさんをご紹介します

グループホームの俳句づくりでお世話になっている「傾聴ボランティアやまぼうし」さんについてご紹介します。

いつも掲載している俳句は、平成23年3月25日から始まりました。入居者さんの中に俳句を趣味にしていた方がいらっしやったので、社会福祉協議会を通じて「傾聴ボランティアやまぼうし」さんを紹介していただき、お願います。

俳句は、ボランティアの方と入居者さんとの会話の中から生まれていきます。その俳句を作る上で最も大切なのは「季語」ですので、ボランティアの方が季節感のある「話題」や「物」を会話の中に織り込んで言葉のキャッチボールの中から、入居者さんの思いを大切に拾い上げて俳句の基本をもとにして句をつくりまします。

ボランティアの方々は、俳句づくりを通して季節を感じていただき、少しでも入居者の皆さんと良い時間が過ごせたらいいと願い、傾聴の本質である「相手の思いに心を寄せて、その人の思いを大切に共有したい」と考えな

がら取り組まれています。

さて、今月はどんな言葉のキャッチボールがあったのでしょうか？ ご紹介します。

先生に背負はれ登る夏の山  
フラダンス腰を上手に夏祭り  
子とすくう金魚たらいに元気かな  
ひまわりや牛の親子は寄り添ひぬ  
マネキンに浴衣を着せし遠き日よ  
薬指確（しか）と覚える残暑かな  
盆近し働きの者の夫思ふ  
故郷はすもも平らよ夏の山

## ケアハウスひなたぼっこ起工式

### 4月1日オープンめざし

8月22日(木)に、ケアハウスひなたぼっここの地鎮祭・起工式が行われ、原村村長、南原区長、(株)ヤマウラ、エム建築設計事務所、社会福祉法人ひなたぼっこ関係者など30人が参加し、工事の成功、安全を祈願しました。

▼10月1日から11月中旬までの日程で、企業組合労協ながの主催で初任者研修（旧ヘルパ―2級）講座が行われます。講座料は六万円ですが、社会福祉法人ひなたぼっこに採用されますと、半額がひなたぼっこから助成されます。

▼また、ケアハウスひなたぼっここの建設を成功させるための寄付金を募集しています。寄付金は確定申告を行う際に、個人では寄付金

控除の対象に、また法人の場合は損金算入対象となります。

▼無利息協力資金は、満期になりますと元金はお返しし、利息は実質寄付をしていただく資金です。

▼有利息建設資金は5年満期で年利0.5%（単利）です。一人の限度額は五百万円です。

▼無利息、有利息協力資金いずれも、建設協力会員として年会費百円が必要になります。詳しくは、社会福祉法人ひなたぼっこ本部へご相談ください。

## 職員の一言

今思う事。少し前になりますが、元旦に仕事が入り出勤途中、立場橋信号機で左に目を開けると、丁度富士山の横より初日の出、本当に本当に素晴らしい景色でした。思わず手を合わせ仕事場に向かいました。元気に仕事の出ることに感謝しつつ、日々利用者様、スタッフの皆さんに元気を頂いています。

（グループホーム・窪田 たみ子）

発行：社会福祉法人ひなたぼっこ

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

☎0266-61-2335

FAX0266-61-2336